



精神衛生・看護学教室

DEPARTMENT OF MENTAL HEALTH/ PSYCHIATRIC NURSING

精神衛生・看護学教室では、
こころの健康問題とストレス分野の研究および教育を国際的な視点から推進しています。

教育活動

精神保健学実習では、精神疾患を有する方にインタビューをします。
よい経験になりますよ！

学部
2年次：健康心理学
3年次：公共健康科学統合講義Ⅱ、心の健康科学、精神保健学実習
4年次：精神看護学、精神看護学実習
大学院
精神保健学(特論)Ⅰ、Ⅱ：精神保健の疫学と対策、職場のメンタルヘルス
精神看護学(特論)Ⅰ、Ⅱ：精神看護学研究の最新トピックス、精神保健・看護学の論文の読み方、書き方
教室ゼミ(教員、院生の研究発表)

教室のスタッフ

あなたのなりたいものになれるよう
応援します！

川上憲人 教授

公衆衛生の精神保健、特に地域住民の精神保健の疫学、産業精神保健が専門で幅広い研究活動を行っています。

研究室：医学部3号館3階(S306)
連絡先：kawakami@m.u-tokyo.ac.jp



西大輔 准教授

精神科医としての臨床経験を活かし、うつ病やPTSDの予防、レジリエンス、妊婦・災害救援者・労働者など様々な集団を対象に幅広い精神保健の研究を実施しています。

研究室：医学部3号館3階(S307)
連絡先：d-nishi@m.u-tokyo.ac.jp



宮本有紀 准教授

保健学科(現 健康総合科学科)出身の精神看護学の専門家です。
精神健康に困難のある人の看護および健康向上、生活支援について幅広い研究活動を行っており、これらの領域に関心の高い大学院生の研究指導と学部学生の精神看護学教育などを担当しています。

研究室：医学部3号館2階(S207)
連絡先：yyuki-ky@umin.ac.jp

今村幸太郎 特任講師

産業精神保健が専門で、認知行動療法を用いた労働者のうつ病予防やメンタルヘルス向上について研究をしています。臨床心理士として企業やクリニックでカウンセラーの仕事もしています。

研究室：医学部3号館3階(S307)
連絡先：kouima-ky@umin.ac.jp

渡辺和広 助教

臨床心理学をバックグラウンドに、産業精神保健を主なテーマとしています。中でも、身体活動や運動の促進を通じた労働者のメンタルヘルス改善を専門にしています。

研究室：医学部3号館2階(S209)
連絡先：kzwatanabe-ky@umin.ac.jp



稻垣兒子 特任助教

健康科学・看護学科(現 健康総合科学科)出身の精神看護学の専門家です。主に統合失調症を持つ方のリハビリテーションやリカバリーに関する研究を行っています。

研究室：医学部3号館2階(S209)
連絡先：akikok-ky@umin.ac.jp

卒業論文テーマ

2018年度

- *東日本大震災の医療救援者における被災地居住とPTSD症状との関連についての検討
- *思春期における主体価値と本人が感じる両親からの期待との関連についての研究
- *労働者へのインターネット認知行動療法の希死念慮改善効果

2016年度

- *薬物依存者支援に関わる機関における連携に関するインタビュー調査
- *動物介在活動・療法に関する文献レビュー



修士論文(課題研究)テーマ

2018年度

- *Effects of a newly developed gratitude intervention program on work engagement among Japanese workers: A pre-and post-test study 日本人労働者において、新しく開発された感謝法プログラムがワーク・エンゲイジメントに及ぼす影響：前後比較試験
- *Effects of a transdiagnostic preventive intervention on anxiety and depression among workers in Japan: a pre-and post-test study 日本の労働者における疾患横断予防介入プログラムの不安と抑うつに対する効果
- *薬物乱用防止教室における当事者講演活動に対する薬物依存症者の視点
- *精神科病棟における隔離・身体拘束を減らす取り組みの定着プロセス
- *ストレスチェック受検時の労働者の回答の信憑性とこれに関連する要因

博士論文テーマ

2018年度

- * Longitudinal adherence to a dietary pattern derived by reduced rank regression (RRR) and risk of depressive symptoms in Japanese employees 縮小ランク回帰による日本人の食事パターン抽出と抑うつ症状発症に関する職域疫学研究
- *Effects of a job crafting intervention program on work engagement among Japanese employees: a randomized controlled trial 日本人労働者を対象としたジョブ・クラフティング介入プログラムのワーク・エンゲイジメントに対する効果：無作為化比較試験
- *精神疾患患者の受診率の性差に関する国際比較研究
- *Relationships among regional radiation levels, residents' radiation anxiety, and psychological and physical symptoms in Fukushima five years after the Great East Japan Earthquake 東日本大震災から5年後の福島県住民における放射線レベルと放射線不安、精神症状および身体症状との関係

大学院修士の主な進路

大学教員:

東京大学、和歌山県立医科大学、三重県立看護大学、聖路加国際大学、首都大学東京、東北福祉大学、順天堂大学、東京医療保健大学、静岡県立大学、聖隷クリストファー大学、名古屋大学、東京女子医科大学、埼玉県立大学、静岡県立大学

研究所:

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、独立行政法人労働安全衛生総合研究所、日本医療政策機構、医療科学研究所、東京都医学総合研究所、国立国際医療研究センター病院：東京武蔵野病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、三井記念病院

官公庁・自治体：厚生労働省、北九州市、文京区

国際機関：国際連合、AMDA、IICA、WHO

地域臨床：病院・クリニック、精神保健での活動、NPOコンボ、心理クリニックへの就職、開業

その他：企業への就職、起業など



研究内容

職場のメンタルヘルス 社会と健康
ソーシャルインクルージョン
精神疾患を有する人のリカバリー



精神保健学や精神看護学についてもっと知りたいと思ったら…

ホームページで調べる：<http://plaza.umin.ac.jp/heart>

研究室を訪ねる：各教員に連絡をとってみてください

先輩を訪ねる：大歓迎です！

